

# 論説文読解(新潟高校課題作文対策)のご案内

新潟高校の独自検査には、筆答検査 A の他に課題作文があります。筆答検査 A については、県高進学塾の授業を受けていれば特別の対策が必要であるほどのものではありません。今後、対策模試も3回実施する予定です。心配は無用です。

問題は課題作文です。これは旧制度の推薦入試課題作文の流れを汲むものですが、採点が難しいだろうと思われる出題も少なくありませんでした。おそらくそこには正解はなく、問いに対する答えが論理的に表現されているかを見ていたのだと思われます。ただし、推薦入試の受験者は少なかったのも、それでも良かったのです。高校側からすれば時間のかかる作業ですが、対応できたのです。ところが、現行の課題作文は受験者全員に課されます。作文の採点を客観的に行い数百名の受験生に優劣をつけるのは大変な作業なのです。新制度になって新潟高校が試行錯誤したであろうことは問題を分析するとわかります。そして、昨年4年目にして一応の形ができたように思われます。採点者の視点で見ると、明らかに採点しやすい出題になっています。それと連動して、29年度入試までは100点だった独自検査の配点が、30年度入試では200点に変更されたのでしょう。そして今年も、昨年同様採点しやすい出題でした。今後しばらくは同じ傾向の出題が続くものと予想されます。ということは、受験生としては準備ができるということです。

課題作文では、まず、与えられた文章を論理的に読む必要があります。論理的に読むことができれば、書くべきことはおのずから決まってきます。また、新潟高校の課題作文で与えられる文章は分量が多いので、読むスピードも要求されます。それに対応するには、読み方のコツを習得することが効果的です。

特別講座論説文読解(新潟高校課題作文対策)は、新潟高校を受験する予定のみなさんはもちろん、他校を受験する予定のみなさんにも有用な講座です。作文や読解に不安のある人は、どうぞ受講してください。